



遊学の森たより

◇6月の遊学の森の様子◇



6月中旬の高丸山です。6月はほとんど雨が降らず、晴天が続きました。



中旬には高丸山に、全国の森林の研究者の人々が視察にやってきました。



森づくり区画、横畠建設の森の様子です。右側の大きな木がミズキです。立派になりました



切った木の幹から芽が吹いています。まだまだ頑張れるぞーと、木が言っているようです。




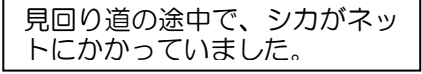
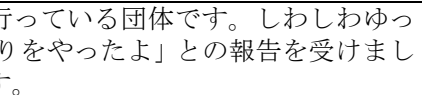
こぼれそうなくらいウツギが咲いていました。初夏には、白い花を咲かせる木が多い気がします。



鈴なりになっていたエゴノキの花。蜜を求めにハチたちがぶんぶん飛んでいました。

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 6月1日～6月30日

活動内容	活動日	活動団体	被害箇所	作業内容
獣害被害防除ネット修復	6月9日 19日	かみかつ里山倶楽部事務局	4カ所 0カ所	森づくり区画の外周に張られた、獣害被害防止ネットの補修状況です。 遊学の森外周のネット補修回数は少なくなってきています。とはいえ、油断ならないので、今後も注意して見回りしていきます。 
森づくり活動	6月18日	徳島・森に親しむ会		熱心に森づくりを行っている団体です。しわしわゆっくり、「作業道の草刈りをやったよ」との報告を受けました。おつかれさまです。 
視察	6月13日	広葉樹の利用と森林再生についてのワークショップ		高丸山千年の森で行っている、自然林再生活動の視察がありました。6/13～14の期間で開催され、12日はブナの自然林と森づくり区画を散策しました。 

■トピックス

●千年の森に視察がありました～広葉樹の利用と森林再生についてのワークショップ～

6月13日から14日にかけて、徳島県農林水産総合技術支援センターと、森林総合研究所主催のワークショップがありました。

高丸山千年の森の事業がスタートして、今年で14年目になります。当時珍しかった、マルチキャビティコンテナでの苗木育成。その苗木を植えて育林（草刈り）作業を行い、地道に育てていく活動を何年も続けた結果、できあがった現在の森を、全国の森林の研究者の方々が目に來られました。

森づくりのモデル林である、高丸山のブナの自然林と、森づくり区画を視察し、「森が良くできている」という言葉をもらいました。また、今後の森づくりについての意見ももらいました。これからの森づくりも、ボランティアの皆さんとともに活動できるように、様々な知恵を出していきたいと思います。



自然林内の様子も興味深そうでした

●7月2日は合同森づくり大会開催

毎年恒例の、「遊学の森～合同森づくり大会～」が、7月2日に開催されます。この活動は、森づくりボランティアの皆さんがともに森づくり活動を行い、交流できる機会を設けることができれば、と考えて始まったものです。毎回、天気予報を見ながら、お天気でありますようにと願っています。

そして今年は、ドローンによる撮影も行われる予定です。14年間育てた森は、ドローンからの空中撮影でどのように映るのか楽しみです。木に隠れてしまって、作業の様子とかは撮れないんじゃないかと、個人的には思っていますが、すべて当日、判明します。完成動画は、どこかでお披露目できればと思います。その際はまた遊学の森便りで発信いたしますので、また本通信をご覧になってください。



昨年の合同森づくり大会の集合写真です

千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL 0885-44-6680 FAX 0885-44-6681

E-mail sennennomori@quolia.ne.jp ※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。

（かみかつ里山倶楽部）